

# idea

## CONNECT × CONNECT

Twitter★[http://twitter.com/#!/center\\_i](http://twitter.com/#!/center_i)

HP★<http://www.center-i.org>

いちのせき市民活動センターニュースレター アイデア

NEWS LETTER IDEA

August

2012

いちのせき市民活動センター情報誌「idea」は、  
NPO・行政・企業の情報発信により、アイデアと  
出合いの機会を創ります。

いちのせき市民活動センター

〒021-0881 岩手県一関市大町 4-29

TEL&FAX 0191-26-6400

Email [center-i@tempo.ocn.ne.jp](mailto:center-i@tempo.ocn.ne.jp)

## Vol.07

せんまやサテライト

〒029-0803 岩手県千厩町千厩字町 149

TEL 0191-48-3735 FAX 0191-48-3736



# 志民のための成長戦略⑥

## ファシリテーション・グラフィック

—平成24年9月8日(土) 13:00~18:00—



講師の「NPO法人あきた  
NPOコアセンター」  
吉田理紗さん

7月の会議ファシリテーション講座に引き続き行った、ファシリテーション・グラフィック講座。ファシリテーション・グラフィックとは、話し合いの内容を絵や図を取り入れながら即興で記録していく、新しいスタイルの「板書」です。ファシリテーション「簡易化・助長・促進」、グラフィック「図表による・グラフィックで示した」という意味です。今回の講座では、このファシリテーション・グラフィックの技術習得を目的に、実践型グループワークを行いました。

まずは、お互いの名前を覚えるための自己紹介。自分の所属団体と呼ばれたい名前、キャッチコピーを用紙に書き、順々に発表。それから3人

組のグループにわかれ、「話し合いの場での、良かったこと・悪かったこと」について話し合いをし、意見を共有。良かったことの意味は、「発表した時に反応がある会議」、「結論が出る会議」、「休憩が入る会議」。悪かったことで出た意見は「1つの意見にひっぱられる会議」、「活気が無い固い会議」などで、出された意見は吉田さんが模造紙に板書し、プロのグラフィックを目で見て学びます。全体で発表した際は、意見に対し「うんうん」と頷く様子も見られました。

### 単純そうで、奥深い

情報を取り入れる手段として、視覚87%、聴覚7%だと吉田さんは話します。ファシリテーション・グラフィックは、①話し合いの内容について共通認識を持てる、②発言を安定させて安心感を与える、③話し合いの発想を刺激する、

④発言を発言者から切り離し、客観的に見られる、⑤共通の記憶・記録として残る、などの利点があることを学び、さらに使用する道具、書く時のポイント、色の使い分けのポイントの方法を覚えた上で、線・図形・アイコンを描く実践を实地。文字に下線を引いたり、円で囲んだりし文字を強調させる練習や、吉田さんが言う言葉を絵で表すという実習を行いました。カラフルな色で飾られた文字やアイコンはまるでアートのように、参加者は楽しみながら作業をしていました。

その後は3人1グループにわかれ、自分が今関心を持っていることを、内面的なことと外面的なことに分けて用紙に記入する「自分シート」を作成し、参加者同士の共通点を見付けるワークを行いました。その次には1人1回必ずファシリテーターとなり、話し合いで出た意見をひたすら模造紙に書き入れるというグラフィックの実践を開始。①

発言の要点をつかんで書く、  
②発言者の言葉を活かす、③話し合いの流れがわかるように書く、④色に意味を持たせたり、強調をつけて書く、⑤空間をうまく使う、⑥アイコンを効果的に使う、というポイントを意識しながら、「とにかく書く！」ことが上達のだ道だと言います。

講座を終えた参加者からは、「要点をまとめていくところがすごく参考になりました。色々な発見がありました。」「何が必要なのか考えるきっかけになった。」「また吉田さんに習いたい。収穫の多い時間でした。」などの感想をいただきました。

話し合いの自身を紙に書くことひとつでも、色の使い分けやアイコンを入れる等の工夫で、より内容がわかりやすいものになります。また、会議以外では、生活の中でメモやノートを書く時にも役立つスキルなので、ぜひ日常の中で活かしていきましょう。

## 2 | 志民のための成長戦略⑥ ファシリテーショングラフィック

## 4 | 地域コミュニティの地域づくり 奥玉地区 町下自治会

## 5 | 企業の地域づくり イオンスーパーセンター—関店

## 6 | 団体紹介 磐清水 梅の里村

## 7 | 歩が行く—スタッフの体験レポート— 砂鉄川 たたら製鉄学習館

## 8 | 11月のイベント・ボランティア情報

一関市内の NPO 法人  
市内 31 法人が活動中です。

- 1 藤沢町ボランティアピアセンター
  - 2 北上川流域河川生態系保全協会
  - 3 ケアセンターいこい
  - 4 須川の自然を考える会
  - 5 レスパイトハウス・ハンズ
  - 6 一関文化会議所
  - 7 一関ケアセンター
  - 8 ワークハウス雲
  - 9 里山自然学校 はずみの里
  - 10 全国地域学習振興会
  - 11 北上川サポート協会
  - 12 グリーンハート
  - 13 いわい地域支援センター
  - 14 アートで明るく生きるかわさき
  - 15 障害者への偏見と差別をなくす会
  - 16 サン.スマイル
  - 17 ねこの手クラブ
  - 18 いわてコミュニティファンド
  - 19 千厩まちかどケアセンター
  - 20 いわて発達障害サポートセンターええ町づくり隊
  - 21 いちのせき子育てネット
  - 22 響生
  - 23 わかば会
  - 24 防災サポートいちのせき
  - 25 とーばんふうどくらぶ
  - 26 生涯支援センター岩手 日向ぼっこ
  - 27 あゆみ
  - 28 子育て支援いっすね
  - 29 ファンスポルト一関
  - 30 北上川流域連携交流会
  - 31 グローバルヒューマン
- (認証順で掲載しています)

### 10月の表紙



### 「つるし雛」

この写真は一関市大東町の猿沢公民館  
内で撮影したつるし雛です。この細工物  
一つ一つには無病息災や良縁、長寿や健  
康などを願う意味が込められており、女  
の子の初節句に家に飾られたそうです。

いちのせき市民活動センターニュースレターideaは、  
市民活動がアイデアを持ってNPOと行政や企業、市  
民との出会いの機会を創りだすことを目的とした情報  
誌です。センター情報をはじめ管内の市民活動団体  
情報や行政情報をお届けします。

# 奥玉地区 町下自治会

—地区民の協力精神・町下地域—

町下自治会長

金 弘則 様



## 地域 コミュニティの 地域づくり

町下自治会は、世帯数97戸・人口331人が暮らす、中山間地帯に位置し、住民同士が、とても心が通じ合っており、なにをやってもまとまるのが、町下の人々です。

### 一人暮らしの老人への 声かけ運動

「実は、私今年から自治会長になったんです。」とすこし照れくさそうに語る金弘則会長。会長自ら訪問した一人暮らしの老人への声かけ運動は、8月から始めたばかり。各班长さんは、月2回訪問、民生委員さんや、老人クラブの方々も含め、皆で輪番制に家を訪問し、生活支援を行っている。訪問先のご老人達は、笑顔で迎えてくれるという。地区民のために活動をしながら、地域の人達を見守っている様子。町下の高齢化率は少し高めで、こうした高齢化が進んでいる中、お互いを助け合い、住みやすく、安心して暮らせる社会を意識してつくっていききたいと思っています。

組織には、総務部・産業部・教育厚生部・婦人部・スポーツ青年部・納税部の6つの組織があり、中でも、

婦人部では、手芸教室や料理講習会の活動を行っています。さらに、地区民祭に出すための踊りの活動もしており、町下では、踊りと歴史的な文化や、伝統を後世に伝承していければと思いい、「そろそろ自治会内で発表する機会を」と会長は模索中でした。

### 町下夏の風物詩

毎年7月下旬に開催している町下サマーナイトフェスティバルは、自治会活動の一つであり、今年で12回目を迎えました。始まりは、行事を一生懸命していた町下地域が夏祭りや子供会が盛んになり、発展していき、仕掛け人は、音楽が好きで、自宅の蔵を改造したスタジオをもつ及川さん。彼が中心となり、町下を拠点に全国各地から、2、3人のバンドグループを招いて披露していたが、若者だけだったため、高齢者の方達も楽しんでもらうようにと、民謡や歌謡曲を披露することになりました。今年も盛大に行われ、集客力もあり、地域活性化に一翼担っており、町下の夏の風物詩となっている様子。

人々のふれあいや、訪れる人々との交流を広めて、地域の親睦がより一層深まったが、町下だけでは、もったいないと奥玉地区全体のイベントにしたなら、「みんなに聞いてもらいたい・見てもらいたい」と金会長は語りました。

### 皆が協力・皆で参画

今後の活動の方向性として、各年齢層で、男女参画できるように自治会活動を目指していき、協力体制を何があっても手を携えてやっていくんだと、気持ちを皆に強くもっていただくことが大切だと語る金会長。

自治会は、明るく・楽しくが、一番。地域の方々が、自分の地域をよく理解していただいて、いい年だったなと思いつながら引き継がれていってもらいたい。今後も皆で親睦を深めながら、地域づくりをしていけるような自治会運営を行い発信していきます。

# 企業の地域づくり ～地域づくりで 生活を豊かに～



イオンスーパーセンター一関店  
店長 猪股 安夫 様

今回の、企業の地域づくり活動取材は、環境・防災・イベントなど幅広い分野から地域づくりを行っている「イオンスーパーセンター一関店」へお邪魔し、店長の猪股安夫さん、総務課の安齋さんにお話を伺いました。

## 市民と一緒にまちづくり

私達の暮らしに必要な商品を提供し、生活を豊かにしてくれるイオンスーパーセンター一関店は、平成19年2月にオープンしてから、地域の企業として地域に根ざした活動を続けてきました。

オープン時には、「緑の多いまちにしたい」という思いもあり、イオンスーパーセンター店舗周辺に植樹をし、また、室根町で行われる「森は海の恋人植樹祭」にも毎年参加しているほか、毎月地域の自治会とも協力し、店舗周辺や地域の清掃活動を行っています。このお店は地域のイベント会場として場所を提供することが多々あり、10月21日には大東高校が主体となった「がんばっぺ！岩手」が開催されたほか、毎年お盆と正月、そして大きなセールの時には、地域の方々に依頼して餅つきを開催。餅をついて下さったり、民謡を歌って下さったりと、いつも地域の方々は快く引き受けて下さると猪股さんは話します。さらに、店内の一角には地場商品を設け、地域の方

が商品を販売する場所として人気があります。商品が置かれていた棚には、手作りの値札や農産物を育てた人のメッセージカードが置かれ、見ているだけで心が温まります。

## 安全・安心にお店を 利用してもらいたい

3月11日に起きた東日本大震災の翌日には、ほかの店に先立ち店をオープン。お店を訪れたお客様に、「何をお求めですか？」と聞いて回り、電気が通っていない真っ暗な店内を、従業員がヘルメットを被り電燈で照らしながら商品を探し、それを手元まで届ける「御用聞き」を行いました。また、過去には、2名の方が深刻な事態に陥り、救急車を呼んだことがありましたが、お客様と従業員の対応で無事救急救命士の方に引き継ぐことが出来ました。その時から今まで以上にスピードを上げてAEDの使い方の講習を行うなど、安全に配慮した環境づくりに力を注いでいるそうです。さらに、11月18日に行われる、ユードームを会場とした大規模な合同防災訓練にも参加を予定している他、国際医療福祉専

門学校一関校とタイアップし、一関市長の方針でもある「安全・安心のまちづくり」に対して、少しでもお役に立ちたいと思い、一般の人も救命救急ができるまちにしたいと、11～12月に企画を立ち上げ活動を予定しています。猪股さんは、「お客様に安心・安全にお店を利用してもらうため、今後も積極的に対策を行いたい。」と防災に対する強い意向を示しました。

猪股さんは「私達は、『地域の皆様と共に、より豊かな未来を創造し続ける』というイオンスーパーセンターの経営理念とともに、一番は市民の生活の拠点になりたいという強い思いがあります。そのためには、地域のお客様の暮らしに必要な商品やサービス、どこよりも安く提供するだけでなく、情報の発信や植樹・清掃作業などの活動を通して、地域貢献の一役を担えたらと思います。」と語ってくれました。

取材には終始優しい笑顔でお話をしてくれました猪股さん。地域の人を想う熱意と地域づくりに対する一生懸命な気持ちがとても強く伝わってきました。これからも地域の企業として、私達の生活を支え続けてほしいです。

# 磐清水梅の里村

## 団体紹介

～基本情報～

◆村長：小山賢和様

◆設立：平成16年6月16日

◆連絡先：菅原弘太郎様（事務局長）

〒029-0804

岩手県一関市千厩町磐清水字胡桃館14

TEL：0191-52-5464



磐清水梅の里村の皆様

## 「梅の花咲く里、梅の実が収穫できる里を夢見て、、、」

### 磐清水梅の里村

一関市千厩町の磐清水の梅の里村では、梅による地域おこしに取り組んでいきます。会員40名が、梅干しを植栽・栽培・加工・販売する作業まで行っています。

同地区には、菅原道真公（菅公）の四男淳茂（菅秀才）が開いたとされる安楽寺があり、菅公ゆかりのある梅をシンボルとしたことから設立しました。地区内毎戸（300戸）に梅の苗木を三本ずつ配布して植栽し、梅の花咲く里、梅の実が収穫できる里を夢見て、今年で9年目になります。

今回は、千厩町内にある片倉工業跡地と磐清水地区の数か所で、収穫作業を実施しました。そこには、見渡す限りの梅の木がなっており、60～70歳代の地域の先輩方が集まり、梅のもぎとり、選別・水洗いの作業をし、楽しく会話をしながら

ら交流を深め、同梅の里村は、憩いの場にもなっており、作業をしています。毎年、1トンの収穫を目指し、梅の出来上がりは、11月を予定しているとのこと。今年は、良い梅になると楽しみみの様子でした。

### 皆で梅もぎ体験

7月初旬、「キズナ強化プロジェクト」として、震災後の日本の現状を知るためにアメリカの高校生が訪れ、「梅もぎ体験作業」を実施。日本の生活に触れてもらいたくさん思い出に残る交流になりました。

毎年地域ぐるみで、「梅の里まつり」を開催。梅干しによる種飛ばしでは、子どもから大人まで距離を競い合う大会をしており、地域一体感を育んでいる。直売部長の菊地（一久）さんは、千厩夜市・千厩日曜市などで対面販売をしています。

全国へ千厩馬つこ便として発送もし、大量購入する人もみられます。現在は、数量が限られていますので、今後は、生産量を増やしながら、梅の新商品の開発などをしていきたい、全国に広げて活動を続け、誇りをもって郷土の一品として、発信を続けていきたいと語ります。

※梅の里村では、体験もできます。3月「満開の梅園散策」6月下旬～7月初旬「梅の収穫・加工体験」8月初旬「シソの葉摘み・加工体験」ができます。（※事前に予約をいれてからご連絡ください。）



# 歩が行く

センタースタッフの千葉歩の体験レポートです。



ホッパの会々員の指導を熱心に聞  
き入れる児童の様子

今月は、一関市大東町の「砂鉄川  
たたら製鉄学習館」にて、「ホッパの  
会」と大原小学校5年生による、「鉄  
づくり」を体験取材してきました。  
この取り組みは、郷土の歴史や文  
化を学ぼうと、地元の児童が総合学  
習の一環で続けており、当日児童は、  
「ホッパの会」会員の指導を受けな  
がら熱心に作業を進めていました。

ふいごを送風に動力に使用。

児童が挑戦！！



児童が、炉に砂鉄や木炭を  
投入する作業

たたら製鉄とは、粘土で築いた炉  
(溶鉱炉)で、砂鉄を原料・木炭を  
燃料に用い、「ふいご」と呼ばれる送  
風動力を使用して極めて純度の高い  
鉄を製造する日本古来の技術です。



たたら製鉄から生まれる

鉄(和鋼)

「ホッパの会」は、北上川支流・  
砂鉄川流域の文化を知ってもらうた  
め、たたら製鉄の実践及び調査研究  
を行い、北上川上流地域の環境保全  
を目的とし、平成10年から当時一関  
市立内野小学校の生徒らと本格的な  
“たたら製鉄”を支援するため結成  
し活動しています。



木炭や砂鉄は投入する前に  
計量器で量ります



木炭を細かく砕く作業も  
児童たちは行います



総合学習

「鉄づくり」

たたら製鉄の実習は、旧内野小学  
校児童が取り組んでおりましたが、  
平成22年からは統合となった、新生  
「大原小学校」の総合授業として継  
続実施され、地域で盛んだった「た  
たら製鉄」の歴史や文化を児童たち  
が肌で感じ、学んでいます。



取材の感想

今回の取材を通し、一関市内には  
さまざまな魅力スポット・受け継い  
でいきたい伝統技があるのだなど、  
あらためて感動しました。また、子  
どもたちの様子から自分の住んでい  
る地域を知り、体験することの大切  
さを学びました。

見事な刀匠技に子どもたち  
の目も釘付けです！！



刀匠と児童の息はピッタリ



迫力のある

「鍛冶」作業

児童たちは、鉄鋼を加熱しハンマ  
ーで叩いて加工する作業の体験も行  
いました。私は、テレビを通してし  
か見たことがなかったので、驚き、  
感動しました。



# イベント・ボランティア情報



いちのせき市民活動センターでは、一関市内で活動する市民活動団体や企業で行うイベントの情報やボランティア募集の情報をお待ちしております。

TEL & FAX 0191-26-6400 ☒ center-i@tempo.ocn.ne.jp



## 文化講演会「悩む力」

NPO法人一関文化会議所では、「悩むヒトこそ悩みぬいて強くなる」をテーマに、姜尚中氏を講師に招き「悩む力」を演題に文化講演会を行います。おひとりにつき2枚まで配布している入場整理券が必要です。

日時：平成24年11月3日（土）  
開場 13時30分 開演 14時  
場所：一関文化センター大ホール  
講師：姜尚中（かんさんじゅん）  
電話：0191-21-2121  
整理券：9月20日（木）  
9時～配布開始



## わくわく自然塾

NPO法人北上川サポート協会では、自然に触れ合い、自然の楽しさや地域にある自然の大切さを学ぶ「わくわく自然塾」を開催します。枝や小石などを使ってクラフト工作や炊事を行います。

日時：平成24年11月3日（土）  
9時～13時  
場所：川崎防災センター  
対象：一般の方  
定員：20名  
料金：500円（保険料材料費等）  
内容：ネイチャークラフト・炊事  
締切：平成24年10月27日（土）  
電話：0191-36-5666



## 第20回ふれあい

### エコ・ゼミナール

ふれあいエコ・ゼミナールでは、企業・学校・および行政で構成され、環境にやさしいライフスタイルの見直しと持続可能な循環型地域社会の構築に向け、環境保全に関する活動を行うことを目的とする団体です。平成4年から「ふれあいエコ・ゼミナール」と称して講演会を開催しており、今回で第20回目を迎えます。

日時：平成24年11月14日（水）  
18時～20時  
場所：一関文化センター 大ホール  
講師：野口健氏（アルピニスト）  
内容：「富士山から日本を変える」  
電話：0191-21-8341



## 鳥越俊太郎講演会

岩手日報一関広華会では、震災を越え、がん闘病を越え、戦場取材も経験した「ニュースの職人」として名高い鳥越俊太郎氏を講師に招き、～スーパーポジティブに生きる～をテーマに講演会を開催します。

日時：平成24年11月20日（火）  
18時30分  
場所：一関文化センター大ホール  
料金：1000円  
電話：0191-23-4124  
講師：鳥越俊太郎氏



## 新垣勉おしゃべり コンサート2

中学2年生に新垣勉コンサートを贈る会では、主に中学生を対象にした新垣勉のコンサートを開催します。新垣さんは、人生に課せられた多くのハンディを背負いながらも逆境を乗り越え、音楽の素晴らしさを伝えながら「オンリーワンの人生を大切に」、「あなたは素晴らしい人間」ということを呼びかけます。

日時：平成24年11月29日（木）  
14時開演  
場所：一関文化センター大ホール  
料金：一般3000円 学生2000円  
電話：0191-52-2064  
090-5231-4333（吉田）



## アロマ講座

NPO法人ファンスポルト一関では、気軽にアロマセラピーについて学べる「アロマセラピー講座」を開催します。アロマ検定2級で使用する精油を使用し、フレッシュナーを作成します。参加を希望される方は、開催日の二日前までに電話で申し込みをしてください。

日時：平成24年11月20日（火）  
13時30分～15時30分  
場所：一関市街地活性化施設4階  
（新鮮館おおまち）  
料金：500円（材料費込み）  
電話：080-2814-8671

## みちのくワークショップフォーラムを開催します！！

平成24年11月17日（土）午前9時30分より、新鮮館おおまち4階のいちのせき市民活動センターを会場に「みちのくワークショップフォーラム」を開催します。全部で12種類のワークショップを開催し、その内参加者が自ら興味関心のあるワークを3つ選択し、学んだスキルを地域づくり・組織運営に活かしてもらうことを目的に行います。ワークの内容は、コミュニケーション心理学、プレゼンテーションスキル、リーダー向けの色彩心理の活用法等とジャンルは様々。各ワークの定員は10～14名、昼食代500円のみで、どなたでも参加できます。申し込み&お問い合わせは、いちのせき市民活動センター千厩サテライト（0191-48-3736）までお願いします。

